

- 1 住みよいまちを力を含わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう

市では、ごみ減量やリサイクルの推進を取り組む商店を募集しています。あなたのお店で、包装紙や紙袋の簡素化や再生品を使用したエコマーク商品の販売などを取り扱ってみませんか。環境にやさしいお店になりませんか。

環境にやさしい店

向日市ごみ減量推進協力店は、あなたのお店のイメージアップにつながります。



対象商店

ごみ減量推進協力店の対象は、次のいずれかに取り組み、又は取り組もうとする市内の小売店等です。

- 包装紙、紙袋の簡素化など簡易包装の推進
- 再生品を使用したエコマーク商品の販売促進
- 空缶、空ビン、ペットボトル、プラスチック類等の回収及び資源化
- 再生紙等の再生品の利用促進
- 販売品の修理サービスへの積極的な取組み
- 市民に対するごみの減量化及び再生利用の呼びかけ
- その他小売店等の創意工夫によるごみの減量化及び再生利用の取組み

応募方法

ごみ減量推進協力店の認定を希望する小売店等は、向日市ごみ減量推進協力店認定申請書を環境対策課に提出してください。

認定

ごみ減量推進協力店として認定されたお店には、向日市ごみ減量推進協力店認定証と標示板が交付されます。

お問い合わせ

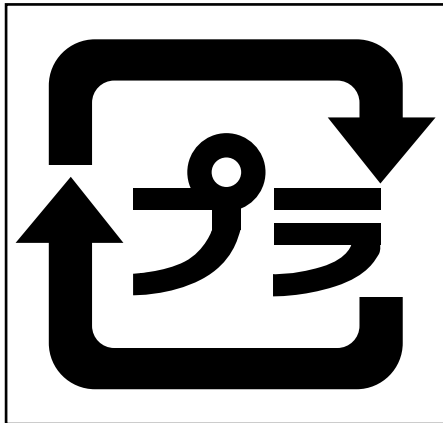
環境対策課環境衛生係(内線226)

お知らせ

第4回環境問題市民懇話会にご参加ください

メインテーマは、「地球温暖化問題」などです。参加希望者は、3月23日(金)までに環境対策課(内線232)へご連絡ください。

- 日時 3月29日(木)午後7時15分～
- 場所 市民会館



プラスチック製容器包装の識別表示

市では、これまで物集女町五ノ坪など7つのモデル地区で行っていたプラスチックの分別収集を、4月から市内全域を対象に実施します。

限りある資源を有効に活用するため、カン、ビンやペットボトル等の現行5品目の分別収集に、新たに「その他プラスチック」1品目が加わります。

皆様のご協力をお願いします。

資源化物の分別収集

プラスチック容器の収集が始まります



市内全域 4月スタート

1 4月からの分別はこうなります

空缶	空缶類全般(アルミ缶、スチール缶)
空ビン	ビン類全般(ビールビンなどは販売店に引き取りを依頼してください)
ペットボトル	飲料用、酒類用、しょうゆ用の容器
その他不燃物	大部分が金属のもの、小型電化製品、電球、蛍光灯など
その他プラスチック	ビニール・プラスチック製の容器包装材(レジ袋、ポリ袋、ラップ類など)
有害物	筒型乾電池

2 その他プラスチックとは

「その他プラスチック」とは、具体的には次のようなものです。

- レジ袋…スーパーの袋
- ポリ袋…トイレトーパーの袋、タバコのオーバーラップ、米の袋、インスタントラーメンの袋など
- ラップ類…3連ヨーグルト・納豆・カップ麺・肉・魚などの包装用フィルム、キャラメルやノートなどの包装用フィルムなど
- パック類…玉子パック、カレー・豆腐・味噌のパックなど
- ボトル類…食用油、ソース、シャンプー、リンスなどのボトル
- トレイ・カップ類…インスタント食品・カップ麺・野菜などのトレイ、プリン・ゼリーなどのカップ類
- 発泡スチロール・キャップ類…緩衝および固定に使用されているもの、チューブや洗剤のキャップ、入浴剤のフタ

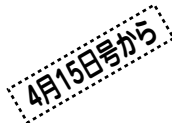
3 ごみの出し方

①洗う②乾かす③キャップを外す④分別収集ステーションの指定の容器に入れる

広報むこうも環境に、人にやさしくなります

■環境への負荷が少ない広報紙になります■

■文字が大きく、見やすくなります■



古紙配合率が100%の印刷物を表すマーク

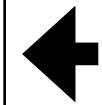


大豆油インクを使用した印刷物を表すマーク

広報むこうは、次回4月1日号の紙面から、使用する文字を約20%拡大し、見やすい紙面に生まれ変わります。

また、紙質については4月15日号から、環境に配慮した古紙配合率100%再生紙を利用するとともに、印刷に使用するインクも石油資源の保護や大気汚染の原因となる有機化合物の発生が少ない大豆油インクに改善します。

広報むこうは、四月一日号から文字が大きく、見やすくなります。



広報むこうは、四月一日号から文字が大きく、見やすくなります。

新しい紙面

従来の紙面